

HIC通信

Vol. 110
October 2020
Hiroshima
International
Center



9月2日、留学生と高校生との交流会（広島県立加計高等学校）

目次

P2 県内留学生が紹介!「私の国と日本」

P3 事業報告

交流部

留学生活躍支援センター

P8 研修部トピックス

研修部インスタグラム開設

P9 情報相談員紹介

P11 JICAレポート

こちら JICA デスク

P10 コラム

Hello Hiroshima

イベント・講座案内

Upcoming Event News

県内留学生が紹介！

私の国と日本

留学生紹介 ソマン ムルンマイさん

広島大学（日本語・日本文化研修生）のソマン ムルンマイと申します。インドから参りました。西インドにあるプネ出身で、歴史豊かな街です。プネと同じく、広島も本当に住みやすい街だと思っています。有名な観光地を訪れ、来日してからの一年間で経験したこと全てが一生忘れられません。



祭り

日本と違って、インドは様々な宗教の影響を受けており、宗教によって祭りがいろいろです。ヒンズー教の中にも色々なお祭りがあります。例えば、光の祭典「ディワリ祭り」や日本のひな祭り似た「ナワラトリ祭り」などです。宗教やカーストにかかわらず、人々がお互いにお祝いしています。祭りの時は、特別な食べ物やおやつなどが作られ、あたりがキラキラしています。

言語

インドは多言語の国といわれ、19,500以上の言語が使用されています。あらゆる地域によって言語が異なります。日本でも各地に方言がありますが、面白いことに、インドでは各言語の中にも方言があります。言語学者によると、インドで話されているほとんどの言語はサンスクリット語から生まれたものだそうです。日本と違い、インドは言語が多いため、インド国内でもわからない言語が時々あります。例えば、北インドの人が南インドの人が話していることが常にわかるとは言えません。

伝統的な衣類

伝統的な服と言えば「サリー」です。サリーは主に女性用の服です。日本の伝統的な着物と同じように少しまいて着ます。もともとは6メートルの布で作られたものです。そして、サリーにも様々な種類があります。6メートルのものと8.2メートルの田舎の方で着られるものです。サリーの着方も町とカーストによっていろいろです。しかし、現代ではファッションが違っており、デザイナーサリーが注目をあびています。



食べ物

印度と言えば最初に思い浮かぶのはもちろんカレーです。日本でもカレーは非常に人気があり、インド料理のレストランが多いです。しかし、日本のインドカレーは日本人向けに作られているため、だいぶ違います。インドのカレーは地方によって、ココナッツが入ったり、玉ねぎのペーストが入ったりしています。カレー以外ではムンバイ市の名物「ワダバウ」（コロッケパン）です。プネ市の名物は「バカルワディ」で、一年中食べることのできる一口サイズのスナックの一種です。また、



インド編

県内の留学生から母国と日本の様々な違いについて紹介してもらいます！



終了式

シャニワルワダ

南のほうでは「ドサ」（インド式クレープ）という食べ物が有名です。非常においしいので是非食べてみてください。

最後に

来日後、勉強以外の世界もいろいろと楽しむことができました。私は今「ひろしま留学大使」をやっています。大使として、広島の魅力を世界に発信していきたいです。また、日本とインドの架け橋になりたいです。日本で就職したいので、日本人の作法とマナーを身に着けたいです。今までした経験と学んだ知識を将来に生かしていきたいと思っています。



スピーチコンテストで最優秀賞を受賞



友達と横手山スキー場へ



三原でお茶づくりを体験



センターアイベントでオタフクソースを訪問



日本の狂言を友達と鑑賞に行きました。



宮島を訪問

• Activity Report •

交流部



Report 1 HIC医療通訳ボランティア養成研修を開催しました

日本語に習熟していない外国人住民等の皆さんがある安心して医療・保健サービスを受けられるよう医療機関や保健機関に、病院などで通訳を行う医療通訳ボランティアを派遣しています。この度ボランティアを養成するための研修を開催しました。この養成研修は、一昨年は広島市で開催し、昨年は東部地域の福山市、3年目の今回は中央部である東広島市で開催しました。対象言語は英語、中国語、ベトナム語、タガログ語、ポルトガル語の5言語で、延べ33名の方が4日間の研修に参加され多文化理解や医療通訳の倫理心得などの基礎となる知識から、実際の通訳の場面で必要となる様々な身体のしくみや機能、病気の知識などについて学ばれました。日本語でも難しい専門用語が沢山出てきましたが、受講生の皆さんには終始メモを取るなどして、大変熱心に受講されていました。

最終日は実際の診察室を想定し、医師役と患者役を相手に模擬通訳を行うトレーニングと選考試験が行われました。合格者はHIC医療通訳ボランティアとして登録され、医療機関などへ派遣されることとなります。



受講風景



模擬通訳

医療通訳ボランティア養成研修プログラム

開催日時	研修内容
8月29日(土) 10:00～17:00	多文化理解、対人援助スキル、医療通訳の倫理心得、医療制度、医療費の知識、身体組織の知識
8月30日(日) 10:00～16:00	身体組織の知識、病気の知識、会話例ペアワーク
9月12日(土) 10:00～17:00	通訳技術の基礎、模擬通訳トレーニング
9月13日(日) 10:00～15:30	模擬通訳トレーニング、面接、選考

交流部



Report 2 「ボランティア通訳ガイド講習会」を開催しました

7月12日（日）、広島市留学生会館でボランティア通訳ガイド講習会を開催し、28名の方にご参加いただきました。東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、広島県にも数多くの観光客やオリンピック関係者が訪れる 것을 예상し、研修を3月から開催する予定でした。しかし、新型コロナウイルスの影響で東京オリンピック・パラリンピックが1年の延期になり、更には研修も新型コロナウイルス対策のため3回も開催の延期を繰り返し、この度ようやく開催することができました。

講習会では（一社）ひろしま通訳・ガイド協会の畠崎先生（英語）、近藤先生（中国語）、李先生（韓国語）の3名の講師の方をお迎えし、最初に畠崎先生より通訳ボランティアとしての心構えや注意点について経験豊富な先生のエピソード等を交えて楽しく講義を受けました。その後は各言語に分かれて通訳ガイドのスキルアップ方法や通訳の実践トレーニングの講義を受けました。

本講習会にご参加いただいた皆様には、広島のさらなる魅力発信に繋がる活動に期待します。

• Activity Report •

留学生活躍支援センター



Report 3 ひろしま留学大使 オタフクソース訪問イベントを開催しました!

8月24日・28日に広島の代表的な食べ物の「お好み焼」について学ぶため、オタフクソース株式会社を訪問しました。留学大使を含め27名の県内留学生が参加しました！

おこのミュージアム・工場の見学やお好み焼き体験、ショップでお買い物、社長への表敬訪問と充実の1日を過ごすことができました。留学生は、本格的な鉄板の上で、広島風のお好み焼を上手に作り、好みのソースをかけて食べていました。また、お好み焼きの歴史やソースの材料などについて詳しく説明いただき、広島の産業施設やご当地グルメについて学ぶ機会にもなりました♪

イベントでの様子をFacebookで紹介していますので、是非ご覧ください！

☆ひろしま留学大使

Facebook : <https://www.facebook.com/hsaa2014>

ウェブサイト : <https://hsaa-studyabroad.jimdo.com/>



留学生活躍支援センター



Report 4 「留学生交流会～のうぎょう体験」を開催しました

8月8日（土）に東広島市にある田んぼで、4か国の留学生・日本人学生計7名と一緒に農業体験をしました！

はじめに、ご協力いただいた「ひろしま農育プロジェクト」から、農業について教えてもらい、歩いて近くの田んぼへ。

三密をさけるため、2つの田んぼに分かれて稻の間の草取り体験（昔ながらの手作業）を行い、作業が終わった後は差し入れの無農薬のプチトマトとジュースをいただきながら交流をしました。

次は、10月3日（土）に稻刈り体験イベントを開催しますので、お楽しみに!!



留学生活躍支援センター



Report 5 留学生交流イベント(世羅・生口島)

『合同会社ひとむすび』とコラボし、県内留学生を対象とした交流イベントを開催しました。

第一弾として、8月17日と20日に、世羅町を訪問しました。『ジェラート工房ドナ』でのジェラート作りを体験したあと、世羅高原農場のひまわり畑を散策しました。ジェラート作りでは、氷で冷やしながら20分間かき混ぜ続け、とても美味しいジェラートが完成しました！ひまわり畑は、色々な種類のひまわりが満開でした。青空のもと、鮮やかな黄色が映えて、とてもきれいでました。

第二弾は9月20日、生口島（尾道市瀬戸田町）を訪問しました。『しまなみロマン』で昼食をとった後、耕三寺、未来心の丘を散策し、お菓子会社の『島ごころ』や瀬戸田サンセットビーチに立ち寄りました。連休のため、たくさんの観光客やサイクリストで賑わっていました。晴天にも恵まれ、留学生はあまり訪れることがない、しまなみ海道の風景やユニークなお寺の耕三寺を楽しんでいました。

コロナウィルス感染拡大により、交流機会が減った留学生にとって、良い気分転換になったと思います。



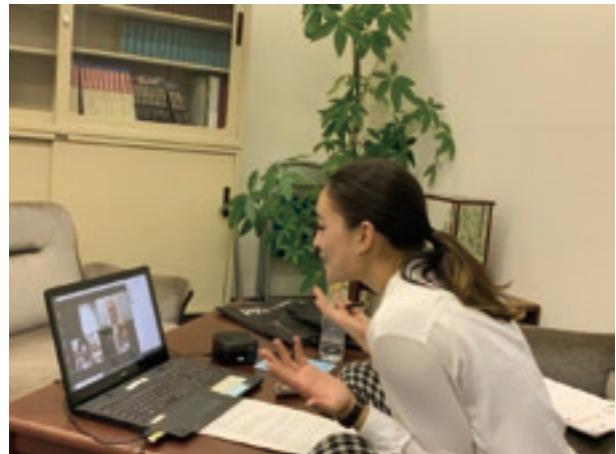
交流部

Report 6 「Enjoy English!」を開催しました!

8月21日（金）、9月18日（金）に広島県国際交流員のゴトウ・ハーシング・アヤさん（アメリカ出身）をゲストにZoomを使ったオンライン形式で、少人数で英語のおしゃべりを楽しむ「Enjoy English！」を開催しました。3~4人の少人数だったこともあり、参加者の皆さんはとてもリラックスした様子で楽しんでいらっしゃいました。

参加者の皆さんには、自己紹介や最近の出来事について話していただきました。特に、マンガの話題になったときはとても盛り上りました！

10月以降も引き続きオンラインでの、おしゃべり会を予定していますので、ぜひご参加ください。

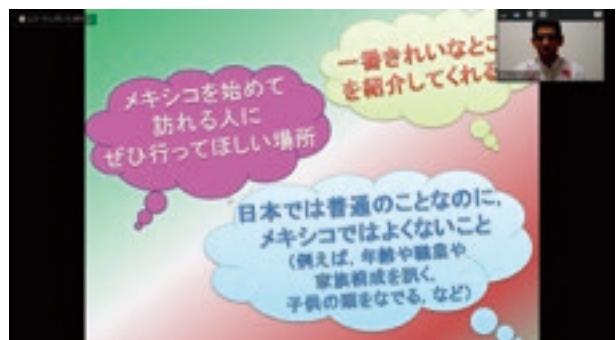


交流部

Report 7 「メキシコらば」を開催しました!

8月28日（金）に広島県国際交流員のホルヘ・ロドリゲスさん（メキシコ出身）をゲストに、Zoomを使ったオンライン形式のイベントを開催しました。ホルヘさんがお話する内容を、事前に参加者の皆さんにリクエストいただき、観光・食べ物・お祭り・イベント・インフラなど、いろんなテーマで、メキシコを紹介していただきました。

そして、なんと！オーストリアから参加してくださった方もいらっしゃいました！対面イベントではできない、オンラインだからこそその良さを実感しました。当センターのオンラインイベントは、広島の方はもちろん、県外の方のご参加も大歓迎です♪



交流部

Report 8 「オンラインおしゃべり会～韓国編～」を開催しました!

9月4日（金）に広島県国際交流員の許笑熙（ホ・ソヒ）さん（韓国出身）をゲストに、Zoomを使ったオンライン交流会を開催しました。今回はなんと、韓国・水原（スウォン）市在住の方も参加してくださっていたので、韓国での生活や水原市について紹介していただきました。日本人の参加者の方々は、なかなか韓国について話したり、韓国語を使ったりする場がないようで、好きな芸能人や韓国語に興味をもったきっかけなどをお互いにシェアしてもらいました。ソヒさんからは、全州（ジョンジュ）市の紹介をしてもらい、伝統家屋や有名なビビンバについてお話をいただきました。



Activity Report •

交流部



Report 9 インターナショナル・カフェ～ニュージーランド編～ (オンライン)を開催しました!

インターナショナル・カフェは、日本人に、外国の文化や習慣などを気軽な雰囲気で理解してもらうために、年数回開催しています。

今年度最初のインターナショナル・カフェを、8月29日（土）にオンラインで実施しました。前半はスピーカーの広島大学留学生のミン・ジェシーさんに、ニュージーランドの概要や食・マオリの文化、景勝地などの文化紹介をしていただきました。後半は、ミンさんとミンさんの友達でニュージーランド在住のゲストDavidさんに参加していただき、英語と日本語での交流会を実施し、リアルなニュージーランドの情報を聞くことができました！



交流部



Report 10 9/13(日)にJICAキッズセミナー「せかいを学ぼう!」を開催しました!

当センターでは久しぶりの対面イベントとなるこのセミナーでは、親子で楽しく学べる！をテーマに、青年海外協力隊員としてそれぞれ、ルワンダ、ペルーに赴任された、城本涼史さん、中籐恭子さんをお招きし、赴任国についてお話しいただきました。

参加いただいたお子さまは、初めて聞くそれぞれの国での生活や町の様子、出会える動物などに興味津々の様子でした。質疑応答の際には、保護者の方からたくさん質問が挙がり、皆さんなかなか聞くことのできない、現地での暮らしやお二人の体験を真剣に聞き入っていました。



留学生活支援センター



Report 11 留学生と加計高校との交流会を開催しました。

9月2日（水）、広島県内の外国人留学生8か国23人とスタッフ3人で、広島県立加計高等学校を訪問し、全校生徒と交流をしました。

歓迎式では、工藤校長をはじめ、生徒会長、おもてなし隊長の挨拶の後、留学生を代表して広島大学のシャムス・アジモアさんがお礼の挨拶をしました。また、留学生にはお土産として扇子をいただきました。

交流会では、留学生は、パワーポイントにより母国の紹介をしたり、中国伝統舞踊やベトナムの歌の披露をしました。

高校生からは、琴の演奏や抹茶、かき氷、お好み焼き体験、餅まき、ヨーヨー、輪投げ、射的、羽子板、蹴鞠、福笑いなどで、留学生をもてなしてもらいました。

留学生は、日本文化の体験や高校生との交流ができ、大変喜んでいました。



中国舞踊

射的

お礼の挨拶

ヨーヨー

餅まき

留学生活躍支援センター



Report 12 当センターのインターンシップを開催しました

8月18日（火）に外国人留学生を対象とした当センターのインターンシップを（株）ディスコとコラボして開催し、中国出身の11名の留学生が参加してくれました。午前中はひろしま国際センターや広島県留学生活躍支援センターの事業概要について説明を受け、午後からは広告制作に必要な要素を学んだ後、12月に開催する就活イベントのチラシを作成するグループワークをしました。

グループワークでは各グループで魅力的なチラシのデザイン・レイアウトについて話し合い、職員の前で発表してもらいました。その結果、最も優秀だったグループのチラシ案を実際に採用することが決定しました。

インターンシップ生が提案したチラシは、12月9日に開催する就活イベントの広報で使用する予定になっています。



留学生活躍支援センター



Report 13 留学生と企業との交流会を開催しました

8月26日（水）に、留学生と日本企業に就職している留学生OB・OGとの交流会を開催しました。この交流会は、日本での就職に不安や悩みをもつ留学生に、先輩からのアドバイスや経験を聞くことを通して、日本での就職について気軽に楽しく学んでもらうことを目的としており、23名の留学生が参加しました。

英語・中国語・ベトナム語・インドネシア語を母国語とする5名の留学生OB・OG（うち2名はWEB参加）を招き、留学生と日本語や母国語で交流してもらいました。

日本企業で活躍している留学生の先輩から母国語で説明を受けたり、質問に答えてもらうことができ、留学生にとって非常に役立つ交流会だったようです。

＜参加いただいた留学生OB・OG＞

株式会社サタケ（ラスアンジャナハリ タンテリ ニリナさん）

長沼商事株式会社（魏 双斌さん）

株式会社マリモホールディングス（クルスタント・アルドさん）

株式会社ヒロテック（レ・シータンさん、魏 偉偉さん）：WEB出演



留学生活躍支援センター



Report 14 企業見学ツアーを開催しました

今から就職活動を始める低年次の留学生を対象とした企業見学ツアーを開催しました。

9月10日（木）には広島第一交通株式会社とオタフクソース株式会社を訪問し、中国からの留学生6名、ベトナムからの留学生4名、フィリピンからの留学生1名が参加しました。

9月15日（火）には株式会社マリモホールディングスとプローバグループを訪問し、中国からの留学生10名が参加しました。

9月24日（木）には株式会社八天堂とテクノス三原株式会社を訪問し、中国からの留学生16名とフィリピンからの留学生1名、ベトナムからの留学生1名が参加しました。

会社説明のほか、海外出身の先輩社員の方からのお話や留学生の採用情報を聞くことができました。ご協力企業のみなさま、誠にありがとうございました。



Hiroshima International Center TOPICS

研修部トピックス

【JICA中国からの受託事業】 その1 日本文化体験プログラム

日本文化体験プログラムでは、地域でご活躍の先生をお招きし、日本の文化を体験し和の心を学びます。6月29日、今年度最初のプログラムとして、書道を実施しました。ひろしま国際プラザのセミナールームで、原田友仙先生のご指導の下、取り組みます。感染予防対策のビニールシートの仕切りを施した室内は、最初は多少の違和感がありましたが、シート越しの実演を見学の後、実践練習が始まる頃には、参加者も雰囲気に慣れた様子でした。「すし」、「うみ」など、お手本を見て書いていきます。



漢字にも挑戦！

「『山』という字を書きたいんだ」とソロモン諸島からのポールさん。岡山大学で学んだため「山」の字には愛着があるようです。先生が特別にお手本を書いてくださいました。研修員は思い思いに練習をすすめ、最後に作品を一つ選んで掛け軸に入れロビーに展示しました。

ひろしま国際センター研修部では、国際研修や国際交流、異文化理解などに関する多種多様なプログラムを実施しており、その数は例年250近くになりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症のため縮小を余儀なくされています。

こうした中、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための広島県の対処方針」を踏まえて適切に感染予防策を講じながら実施してきたイベントの中から、いくつかのプログラムを紹介します。



先生の筆の動きをじっくり観察

【JICA中国からの受託事業】 その2 東広島ツアー

7月9日に実施した「東広島ツアー」では、JICA長期研修員6名とその家族1名が参加しました。感染予防対策としてスペースを取って座れるよう、かなり大きめのバスで回ります。

最初に立ち寄った三景園は、広島空港開港にあわせて作られた美しい庭園です。その和の景色に研修員たちは感動！エサに群がる池の鯉も気に入っていました。



午後は、じゃがいも掘り体験です。豊かな海を見渡せる安芸津の農園で、さらさらしたオレンジ色の土の中から、安芸津特産のブランドじゃがいもをたくさん収穫することができました。自分の国でじゃがいもを広めたいという夢を語ってくれる研修員もいて、短い時間でしたが、充実した農業体験となりました。

しまなみをパックに。大きなじゃがいも！



エサやりで錦鯉とたわむれます

HIC研修部（ひろしま国際プラザ） Instagramを始めました！

施設利用に関する情報や、国際交流イベント、日本語・日本文化体験研修の情報などをお届けします！
Instagramアプリから「ひろしま国際プラザ」で検索してください(^^♪

FOLLOW ME!

@hip_higashihiroshima



HIP_HIGASHIHIROSHIMA

新しい情報相談員紹介

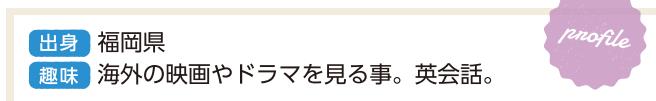
新しい情報相談員を紹介します！
外国人の方の相談をお待ちしております。



私はかつて海外で暮らしたことがあります。言語も文化も習慣も異なる外国に住む心細さは、とてもよくわかります。日本人同士でも、東京と大阪ではずいぶん価値観が違うのですから、外国でのコミュニケーションは本当に難しいですよね。ですから、その時の体験を思い出し、外国人の方たちが広島に来てよかったです！と思っていただけることを願いながら、情報相談員の仕事に励んでおります。いつでもHICに立ち寄って、なんでも気軽に相談して下さいね！



今年3月から情報相談員をしています。主に金曜日を担当しています。コロナの影響で来館者が少なく残念ですが、少しでも皆さんのお役に立てる情報を提供できればうれしいです。英会話をやっているので、語学習得の難しさはとてもよくわかります。いつでもお気軽に声をかけてください。皆さんとお話しできるのを楽しみにしています。



profile

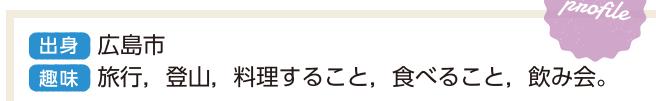
みなさん、こんにちは。情報相談員の福山と申します。情報相談員のお仕事は、多岐に渡る為、毎回新しい出来事や出会いの連続で、緊張感の中にも楽しさもあり、とてもやりがいのある仕事だと感じています。これからも皆さんのお役に立てるよう、様々な情報を届けできればと思っております。相談などございましたら、お気軽にお声かけください。



profile



2018年11月より情報相談員をしています。
学生時代、バックパッカーでいろいろな国を旅行し、沢山の方から親切にしてもらいました。いま、来館されるさまざまな国から来られる人たちのお話を聞くのがとても楽しいです。言葉は分からなくても、ココロでつながり合えたらと思います。HICにどんどん遊びに来てください！



profile

今年の7月から情報相談員をしています、杉山智恵（すぎやまともえ）です。

現在、日本語教師の卵で、観光ガイドの卵もあります。日本や日本語に興味を持ってくださる外国の方のお役に立てるよう勉強中です。

(ほぼ)生糞の広島っ子で、趣味は、広島のプロスポーツを見ること（特に野球とバスケ）、美味しいものを食べること、歌うことです。

どうぞよろしくお願ひいたします。

Hello Hiroshima

Vol.110 October 2020



Hi everyone, こんにちは！
Aya here.

Aya

(Hiroshima Prefectural Coordinator
for International Relations)

It has officially been a little over a year since I moved to Hiroshima from the United States. And for pretty much all of us, what with the historic global pandemic among many other things, it has definitely been quite the year!

As most people living abroad during the current situation, I get asked fairly often if I feel homesick. That probably includes many of the people reading this!

And I cannot speak for you all, but in my case, I do sometimes. I miss my family, particularly my 6-year-old little sister, my home-state California, which is currently tragically on fire, my friends, who probably know me the best out of anyone, and last but not least, real California-style nachos (sorry Japan).

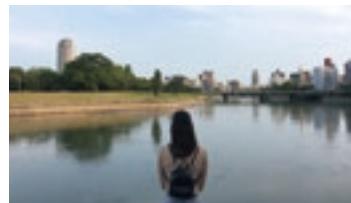
However, I know I am in a place of privilege to have this great job, live in a wonderful place, and to have a network of support here. So my answer is, I am lucky to say that I have a home here now too.

What makes somewhere feel like home? It's probably different for everyone, but for me I think it's the human connection. There is a woman who works at my gym who is incredibly talented at

art, and we ritually chat about her new chalk art when she changes it each month. I go to the same friendly cashier at my local supermarket every time I go, to the point where he knows the extent of my addiction (it's huge) to Haagen Dazs ice cream. I've been to the same hairdresser enough times that I found out the only tops he ever wears are white t shirts, and now we joke about it every time I see him. The owners of my favorite restaurants all know me (because I eat out more often than I should admit). And I am lucky enough to have wonderful friends in Hiroshima, both foreign and Japanese, who I completely trust to be there for me whenever I need it!

I'd say that sounds like a home to me. ☺

I hope that you all have that human connection in your neighborhood or your area or your workplace who makes you feel seen and at home too. And if you have been having a crazy year, or feel lonely or overwhelmed sometimes, know you are not alone. Fingers crossed that by the next Hello Hiroshima comes out, the world will be further along in the mending process. In the meantime, I will probably be eating Haagen Dasz somewhere. Until next time, stay safe and healthy everyone!



Upcoming



E v e n t N e w s



「新型コロナ緊急募金チャリティーウォーク」～碑めぐりウォークラリー～

ステイホームによる運動不足解消のために、平和公園内の碑めぐりをしながら歩きます。そして、水道設備などがないため、新型コロナウイルス感染拡大防止の基本的対策である手洗いもできない途上国の子どもたちのために、参加費をユニセフ募金とします。

日 10月31日(土) 時 10:30~12:30
費 18歳以上 300円(ユニセフ募金とします)
定 30名 場 平和記念公園内(集合: 平和記念資料館下)
問 広島県ユニセフ協会 担当者: 高田 和美 Tel: 082-231-8855
mail: unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

HIC世界体験デー

外国语でおしゃべりをしたり、世界の文化や遊びを体験したり、クイズで外国のことを学べるコーナーもあります。外国の踊りや歌の披露もあります。大人から子供さんまで楽しめる国際イベントです。ぜひ、御来場ください。

第42回ハンド・イン・ハンド募金

世界の厳しい環境で暮らす子どもたちのために、毎年この時期に街頭募金を行っています。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者は距離を取って並び、大きな声での呼びかけは控えて、募金箱も消毒するなどの対策を取って実施します。

日 11月23日(月・祝) 時 10:00~16:00
定 同時入場100人以内 場 ひろしま国際センター
問 ひろしま国際センター 担当者: 北角 Tel: 082-541-3777
mail: hic17@hiroshinma-ic.or.jp

日 12月19日(土) 時 15:00~16:00 費 無料
定 特になし 場 八丁堀, 本通り, 紙屋町, 平和公園周辺(予定)
問 広島県ユニセフ協会 担当者: 高田 和美 Tel: 082-231-8855
mail: unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp



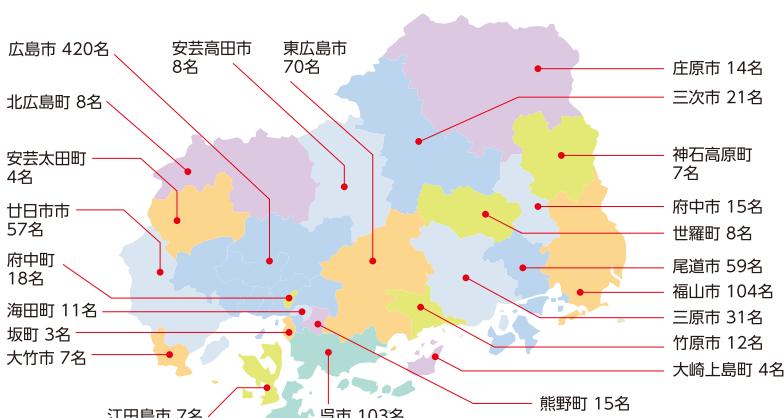
こちらJICAデスク



広島から世界へ! いつか世界を変える力になる!

これまで1,006名の広島県出身の隊員が世界で活躍しています!

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により日本国内で一時待機中です。(2020年8月現在)



■これまで派遣された広島県出身JICA海外協力隊(名)

区分	合計
青年海外協力隊／海外協力隊	875
シニア海外協力隊	91
日系社会青年海外協力隊／日系社会海外協力隊	30
日系社会シニア海外協力隊	10
※短期ボランティア含まず	

2020年8月31日時点

<JICA海外協力隊>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい!」という強い意欲を持つ20歳~69歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティア事業です。派遣は原則2年間、衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、同じ目線で途上国の課題解決に取り組みます。また、帰国後も現地での経験を日本の地域や世界の発展に役立てることが期待されています。そんな草の根レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか?



帰国隊員レポート ～ヨルダン～

職種：環境教育

藤井 沙紀さん



ヨルダン

ヨルダン川東岸に位置するアラブの国、立憲(世襲)君主制、元首は国王

【概要】面積: 89,000 平方キロメートル

人口: 995.6万人

首都: アンマン

言語: アラビア語

宗教: イスラム教 (93%)・キリスト教 (7%)

現地での活動内容

任地へは首都アンマンからバスで約一時間。教育省文化芸術活動局に配属されました。主に女子小中学校、高等学校を巡回して、環境に関する授業を行っていました。ネイチャーゲームを始め、リサイクル工作や講義形式の授業まで、試行錯誤しながら様々な活動を行いました。また、休日を利用して個人的に難民支援を行っていました。シリア難民の子どもを対象に環境に関するアクティビティを行ったり、日本の企業に寄付していただき、パレスチナ女性を対象に布ナプキンを広める活動をしたり、その延長で手芸を教えたり、協力隊の活動以外にもボランティア活動をしていました。

ヨルダンってこんなところ!

世界的に有名な世界遺産ペトラ遺跡があり、私も季節を変えて三回訪れました。また、塩分濃度が高く体が浮くことで有名な死海もあります。聖書に登場する地も多く、観光地としても栄えています。派遣前、隣国シリア、パレスチナ、イラク等は内戦でテロが多発していましたが、ヨルダン国内は比較的安定していました。ですがそのため、周辺国からの難民も多く、様々な問題を抱えています。私が住んでいた家の大家さんはキリスト教徒でしたが、地域によってはイスラム教徒以外も多く住んでおり、異教徒や異文化が共存しています。

ヨルダンの食事



▲ヨルダンの家庭料理

料理には主に鶏肉や羊肉を用います。ラクダ肉は栄養価が高いですが値段も高いので減らし食べません。ですが、臭みも少なくとても美味しいです。一番のおもてなし料理は、マンサフや羊の頭部の煮込みです。マンサフはヨルダンの伝統料理で、世界最古のチーズと言われているジャミードを使って作られます。アラビックコーヒー、トルココーヒー、紅茶を頻繁に飲みます。イスラム教徒なのでラマダン(断食月)がありますが、その期間だけ売られる食べ物や飲み物があるのも楽しみの一つです。



▲ラマダン飾り



▲生徒達

藤井 沙紀さんプロフィール

・福山市出身。

・小さい頃から異文化に興味を持ち、大学在学中にアフリカに留学した事で途上国支援を志す。2017年7月から環境教育隊員としてヨルダンで活動。

参加のきっかけ

中東の文化に興味を持っていたことと、ムスリムの友達が多かったことから、ヨルダン派遣を志望しました。

参加して思うこと

アフリカと中東に長期滞在し、両方の文化や国民性を比較できたことは大きな財産でした。どこに行くかではなく、何をするか、ということが一番大切だと思います。そしてどんな国でも良い人もいれば嫌な人もいる、諦めることなく関わり続けることが大切だと感じます。

「グローバルリレーションズ・プログラム(GRP)」参加者の声

HIC article: 王璇静さん (中国)

I am a PhD student at the Hiroshima University and I came from China. It is a great pleasure for me to share my experience in HIP to you here.

I came here in September 2019, in the past year, I have experienced many activities about Japan about Hiroshima, like Sakematsuri, Tondo festival, the share of A-bomb experience and so on. These are precious memories for me, all of these experiences are very new and interested to me. So, I want to share with you 3 moments that impressed me.

At the Sakematsuri, there were 1,000 different brands of sake from across the country. We cross the street playing Japanese traditional drums. And people can drink Japanese sake from noon, that was a very pleasant day. I started learning Japanese from 7 years ago, but participating in Japanese traditional activities made me truly feel the

charm of the local area.

The sharing of witnesses of the atomic bomb is of great significance to me. In my opinion, it is very important to remember the damage of war. The experience of A-bomb was painful, but I was deeply moved by the strong spirit of the people. Because people have experienced pain, they love peace even more.

In May 2020, I fell while running. The injury of body is not serious, maybe because I am alone, I feel a little bit panic. The staff took me to the hospital and comforted me like family. It makes me feel so warm. Finally, I want to say thank you to my friends here and all the staff. The Coronavirus outbreaks all over the world, 2020 is a hard year, but I believe we can tide over the difficulties together.



グローバルリレーションズ・
プログラム(GRP)とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的にした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、8ヶ国17人の留学生が参加しています。

そのほか、レジデンツアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料

1泊800円 管理費2,550円／月

月額24,950円～27,350円(水道光熱費込み)

★毎年、春と秋に入居者を募集しています。詳しくは「ひろしま国際プラザ」のHPをご覧ください。

10/17 (土) に第2回グローバルキャリアセミナー(オンライン)を開催します!

このセミナーは、海外での仕事経験をもつ講師に、ご自身の体験談や仕事の紹介をしてもらい、青少年等を対象に国際貢献・国際協力をを目指すきっかけづくりを目的としています。国際関係の仕事を目指している学生の皆さん、ぜひご参加ください!!

日 時	10月17日(土) 13:30～15:00	方 法	オンライン形式 (Zoomを使用します)
講 師 (2名)	・外務省 国際機関人事センター 中野 美智子氏 ・国連訓練調査研究所(UNITAR) 広島事務所長 関元 美穂子氏	対 象	中高生・大学生(一般の方も参加可)
		参 加 費	無料
		申 込 み	https://bit.ly/2H3F76a こちらから



交流部&留学生活支援センター

〒730-0037
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
TEL.(082)541-3777 FAX.(082)243-2001
E-mail／hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間
月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。



研修部(ひろしま国際プラザ)

〒739-0046
東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL.(082)421-5900 FAX.(082)421-5751
E-mail／hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間
(情報センター・図書室・NGO交流室) *情報センター・図書室は平日12:30～13:30閉館です。臨時に閉鎖する場合は、HPで随時お知らせします。
月～土 10:30～19:00*
日・祝日および年末年始はお休みです。

